

第6回信濃町長期振興計画審議会 議事録

日 時：令和元年10月23日（水）15時～16時45分

場 所：地域交流施設（古間支館）1階 大会議室

出席者：

○出席委員 佐藤 恵明 委員、永原 邦徳 委員、静谷 貢 委員、間瀬 一朗 委員、
有江 重毅 代理（砂山 聡 委員）、諏訪戸 裕子 委員、原山 公平 委員、
飯塚 弘司 委員、小林 美恵 委員、大澤 保博 委員、徳武 洋子 委員、
外谷 政子 委員、赤松 玄人 委員、黒田 美代子 委員、松村 修 委員、
出浦 洋子 委員

（16人）

○町（事務局） 小林総務課長
総務課まちづくり企画係 黒田係長、本藤主任

○計画策定支援事業受託者 特定非営利活動法人 SCOP 鈴木研究員

1 開 会

（小林総務課長）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

時間になりましたので、ただ今から第6回信濃町長期振興計画審議会を開会いたします。

なお、審議会条例第7条の規定により、過半数の委員の出席がありますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、初めに、松村会長からごあいさつをお願いします。

2 会長あいさつ

（松村会長）

大変お忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。

前回の審議会では前期基本計画の施策体系（案）と構成（案）について皆様にお諮りしたところです。今回の審議会では、事務局において作成した前期基本計画（案）について説明をいただく予定です。委員の皆様におかれては、忌憚のない御意見をいただきますようお願いいたします。

3 議事録署名委員の指名

（小林総務課長）

ありがとうございました。次に、本日の議事録署名委員の指名を松村会長からお願いいたします。

（松村会長）

本日の署名委員について、出席委員の持ち回りによりお願いしているところですが、今回

は、徳武洋子委員さん、外谷政子委員さんをお願いいたします。

(小林総務課長)

指名された委員のお二人には後日会議録に御署名していただきますのでお願いします。
それでは議事に入らせていただきます。規定により松村会長に議事進行をお願いします。

4 報告・審議事項

(松村会長)

それでは審議に入りたいと思います。本日の議事ですが、まず報告事項について事務局から説明を受け、続いて審議事項に入りたいと思います。それでは事務局から説明をお願いします。

(黒田係長)

以下の資料について説明

- ・資料1 第5次長期振興計画後期基本計画／第7次行政改革大綱の評価・検証シート

(松村会長)

第5次長期振興計画後期基本計画及び行政改革大綱の評価について説明をいただきましたが、ただ今の説明につきまして御意見・御質問がありましたらお願いします。

(委員)

これは報告ということですが、意見を述べて大丈夫でしょうか。

(松村会長)

はい。遠慮せずをお願いします。

(委員)

CO₂排出量を今後減少させるような計画となっておりますが、計画全体をみると観光客や住民を増やすということになっていきます。このようなかたちで計画どおりにいったとすると、CO₂排出量は減ることはなく、増えていきますよね。森林の活用に関する項目についてはA評価になっていたと思いますが、それとあわせた中で、カーボンオフセットを利用しながら計画の数値として出していかないとバランスがとれないのではないかと考えたので検討していただければありがたいと思います。

(黒田係長)

CO₂排出量の指標につきましては、町が所有する公共施設に限ったものとなっております。委員さんのおっしゃるとおり、人が増えれば二酸化炭素が増えるという状況ですが、町としても省エネに努めながらやっていくという意味で、次期の計画にも入れております。世界的

に CO2 排出量を減らそうという動きがあり、今後も第 6 次長期振興計画に入れていきたいと思いをします。

(委員)

それから、1 ページ目のところですが、景観条例は計画策定の検討だけで A 評価になっています。再生可能エネルギーの取組意向については、ペレットストーブの普及促進のみということですが、これも計画を策定するかたちでやっていただかないと、後の環境基本計画へも影響してくると思います。これについても、もう少し検討してもらえればありがたいと思います。

(黒田係長)

環境係で、環境基本計画を来年度から策定すると聞いておりますので、御指摘いただいたことについては個別計画の中で対応させていただければと思います。

(松村会長)

他にあれば、お願いしたいと思います。

(委員)

6 ページの緊急通報装置についてですが、民生委員の方でも運動はしているんですが、電話回線がないと駄目なんです。新しく越してきた方々ですと、電話を持っていなくて携帯電話だけという人がいますので、電話回線がなくても設置できるような検討をしてもらわないと進みません。

(黒田係長)

今年度、住民福祉課の方で地域福祉計画を策定していると伺っておりますので、そちらの方へ入れるようにこちらからお願いしておきます。

(松村会長)

よろしいですか。他のみなさんはいかがですか。何かございましたらお願いします。

(委員)

信越病院のことですが、私共もあり方検討委員会のなかで検討をしてきたわけですが、当時と今では状況が変わってきています。残念ですが年々赤字も増えてきている現状のなかで、信越病院を新しくしてよいのでしょうか。この問題について提起したいと思います。

あと一点は、胃がんについてです。受診者が少ないということですが、胃がんの原因は 100% 菌のせいで、その菌を取り除けば胃がんを撲滅できると聞いております。それを町でやっていただくことはできないのでしょうか。胃がんの患者が非常に少なくなると思います。

もう一点は一茶記念館についてですが、あんなに素晴らしい記念館があるのにまだまだ来

館者が少なく非常に残念です。何が原因なのかを考えますと、駐車場が一番の問題ではないかと思うんです。もっと広く、国道から自由に入っていけて、観光バスも一般来場者も楽しみに来られるような施設をつくっていく方向性を出していただきたいです。以上です。

(黒田係長)

病院の関係につきましては、5年前と状況が変わっておりますので、第6次長期振興計画の中でも書き方を変えさせていただいております。信越病院の新築に関する状況につきましては、平成31年2月に信越病院再整備基本計画策定支援業務等の委託契約をコンサル会社と契約したところとまっていますが、今後も検討を進めていくようなかたちで第6次長期振興計画へは入れております。

また、胃がんの検診については、新しい事業であるACE健幸ポイントという制度の中で検診率を上げようとしています。第6次長期振興計画でも検診率の向上について書かせていただいております、今後も推進していくつもりです。

(小林総務課長)

3館についてですが、ナウマンゾウ博物館は昨年度リニューアルを行った効果で観光客が増えてきました。一茶記念館については、駐車場の問題もありますが、財政的に非常に厳しいため、駐車場の検討までしていない状況です。3館をどのようなかたちで運用していけばいいのかについては、財政的な面を含めながら検討していきたいと考えています。

(松村会長)

それでは他の方をお願いしたいと思います。

(委員)

人間ドックや特定健康診査、生活習慣病検診について書いてありますが、町外の病院に常にかかっている、そこで血液検査する人もいますよね。私もそうなんですが、それも検診したことになるのでしょうか。そういう人も数えたら、この数値はもう少し上がるような気がするのですが。

(小林総務課長)

特定健診については、各世帯へどうにかたちで受診されるかを聞いて教えてもらっている状況です。他の病院に行っているとか、人間ドックを受けるとか、そういった状況は町で把握しています。評価・検証シートの数値は、町内で受診している人の分だと思っておりますので、全体的にはこれよりもっと多いかと思っております。町外の医者にかかっている人を含んでいないと思っておりますので、そのあたりについても適正かどうか見ていきたいと考えております。

(松村会長)

それでは他の皆さんはいかがですか。

(委員)

3館についてですが、行政だけでやっていくのは難しいところにきていると思います。今後は指定管理とか、そういうところに長けた会社と連携や協力をしながらPR等を含めて新しいスタイルをつくっていかないと難しいのではないかと思いますので、検討をお願いします。

それから婚活についてですが、知り合いに高山村で婚活イベントのプロデュースをしている方がいますが、彼に聞くとかなりの予算を村で出してくれているようです。そのかわり毎年結婚式に呼ばれて大変だそうなので、信濃町もそういうふうになれるように頑張りたいと思います。

(小林総務課長)

3館の指定管理ですが、3館は収入が上がらず持ち出しが多くなっていて、支出の方が増えている状況です。今回の前期基本計画の中では行政経営方針を新たにつくりましたが、財政が厳しい中で、将来的には3館の指定管理について検討していかざるをえない状況だという話をしているところです。

婚活のイベントについては、今は消防団がやっているのですが、イベントをやった段階で終わってしまい、その後どうなっているかというフォローがしづらい部分が課題となっています。

長野市を中心にした連携中枢都市圏の事業としても、婚活のイベントを行っております。他にも、飯綱町と連携してやろうという話が出てきており、婚活については力を入れていきたいと考えております。

(委員)

飯綱町で婚活のプロデューサーを雇って実施したところ、盛り上がりがよくなりました。参加者が町内の人だけですと顔見知りが多くてうまくいかないのも、もう少し地域を広げてやっていただくと人も集まるし内容も良くなると思います。検討をお願いします。

(松村会長)

ありがとうございました。それでは他の方。

(委員)

先ほど胃がん検診のことで質問させていただきましたが、菌の名前を思い出しました。ピロリ菌です。数年前から保険適用になったのですが、いきなり医者へ行って診てほしいというわけにはいかないみたいです。胃の調子が悪いというので受診して、検診するときピロリ菌の検査をしましょうという流れになると保険適用になるのだそうです。行政だけでやるというのも難しいですが、地域を挙げてやっていただければ胃に悩む人が減るはずですよ。

(松村会長)

要望ということでよろしく申し上げます。

他の皆さんはよろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは時間の関係もありますので、審議事項に入ります。審議事項につきましては、事務局から説明を受けた後に質問を受けたいと思います。それでは事務局から説明をお願いします。

(黒田係長)

長期振興計画(案)としてお配りした資料をご覧ください。前回の審議会の際にSDGsを入れることについて検討していただきましたが、今回はSDGsのマークを削除させていただいています。SDGsについては、ご存じのとおり、17のゴール、169のターゲット及び232の指標があり、ゴールだけをみると町の計画と適っているのですが、169のターゲットや232の指標まで掘り下げていくと、町の計画とそぐわないところがあります。例えば、ゴール1の「貧困をなくそう」のターゲットの一つをみると、「2030年までに各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にあるすべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる」とあり、さらに成果状況を測るための指標は「各国の貧困ラインを下回って生活している人口の割合」「各国の定義に基づきあらゆる次元の貧困ラインを下回って生活している男性・女性・子どもの割合」となっており、発展途上国に向けた目標と考えられます。県では総合計画でSDGsを取り入れています。近隣市町村ではSDGsを掲げているところが少なく、また掘り下げていけばいくほど計画の内容とかけ離れてしまうのではないかとということで、事務局の案としてSDGsの記載を削除させていただきました。こういったものは小規模の市町村での実施が難しく、SDGsにより町のための計画が世界のための計画に見えてしまうと考えています。ここで質疑をとらせていただければと思います。

(松村会長)

ただいま説明がありましたが、質疑をとらせていただきたいと思います。何かございましたらお願いいたします。

(委員)

今、一市町村でSDGsの取組は困難だとおっしゃいましたが、先進的なところだと、北海道の下川町では町長がリーダーシップをとってSDGsのスタートと同時に積極的に取り組んでいるという事例があります。確かに大きな尺度で扱われていますが、市町村でもやってのけてPRしている市町村もありますので、そこを参考に検討していただければと思います。

(黒田係長)

赤松委員がおっしゃったように、SDGsを掲げている市町村も確かにあります。これはまだ未確定の話ですが、今後町でつくる予定の第2期総合戦略ではSDGsを取り入れることが必須になるようです。町の基本計画に載せるとなると実現にあたり厳しいものがありますが、個別計画のなかでターゲットを絞っているものであればできるのではないかとということで、個別計画で載せられるものについては載せてもらうといった方向性でいます。個別計画で使えるようであれば、別個でやっていくのがベストではないかと思っています。

(委員)

外に対するPRとして考えたときに、こういったことに長野県の信濃町が取り組んでいるということをぜひPRしていただくと思います。我々のターゲットとする人口増という観点から考えても、気候変動が生で感じ取れる時代になっておりますので、17のゴールを絞り込みながら「こういうことを大事にしている町ですよ、だから町に来てください」ということを表現していただければいいと思いますが、希望ということで伝えておきます。

(黒田係長)

先ほど申し上げたように、環境基本計画等で入れられるように検討を進めさせていただければと思います。

(委員)

個別計画でやっていくということですが、それは町民や外部に向けて周知されるようにやっていただけるものでしょうか。そこが大事だと思います。SDGsを知っている人は少ないのではないのでしょうか。私も一応知っていますが、個別計画でやったとしても、町だけで掲げていてこちらは知らないとなってしまうのもったいないことだと思います。どんなかたちでもいいので可視化していただいて、皆さんに知っていただくことが大事だと思います。町民がSDGsとは何たるかということについて分かるかどうかで全然変わってきてしまうと思うので、ぜひそこはお願いしたいと思います。

(黒田係長)

出浦委員さんのおっしゃるとおり、町民の方にといいですか、日本全国にSDGsがまだ浸透していないということがあります。聞くところによると、企業はSDGsを取り入れた戦略を立てていかないと取り残される時代を迎えているとのこと。機会があればSDGsについて町民の方へ浸透できればと思っておりますので、そういった説明もタイミングを見て行ってきたいと思います。一番懸念しているのが、SDGsを掲げたときに、掘り下げていけばいくほど計画との整合が難しくなるということです。町職員もSDGsについて全員が知っているわけではないので、職員も勉強しながら町民の皆様に浸透していければと思っております。

(松村会長)

ありがとうございました。他に何かありますか。先に進めてよろしいでしょうか。それでは先に進めたいと思います。説明が長くなりますので、基本目標ごとに質疑応答をとりたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(本藤主任)

以下の資料について説明

- ・資料 第6次信濃町長期振興計画(案) 基本目標1 について説明

(松村会長)

ありがとうございました。それでは基本目標1について説明がありましたが、御意見・御質問がありましたらお願いします。

(委員)

主な事業の9番にある、ワーケーションという言葉が分からない人もいるかと思います。これはワークとバケーションを合わせた造語で、仕事をしながら休暇も楽しむといったような意味です。補足になります。

(黒田係長)

委員ご指摘のとおり、言葉が難しいので、テレワークとワーケーション、それから信濃町ノマドワークセンターについては脚注をつけさせていただきたいと思います。

(松村会長)

それでは他の方はいかがですか。それでは前に進めたいと思います。

(本藤主任)

以下の資料について説明

- ・資料 第6次信濃町長期振興計画(案) 基本目標2 について説明

(松村会長)

基本目標2について説明がありましたが、御意見・御質問がありましたらお願いします。

(委員)

この前の会議の際にも申し上げましたが、政策の一つ目に「安心して子どもを生み、育てられる環境づくり」とあります。今このあたりで子どもを産むとなると、長野市あるいは北信の方まで行かなければならず、とても大変です。信越病院で無理なら飯綱病院で産めるような方向で検討していただけないか。そうでないと、単なる目標やうたい文句で終わってしまうと思います。

(小林総務課長)

今、病院の改築をどうするかについて検討していて、その中でどのようなかたちで続けていくのかということも検討していきます。産婦人科があればもちろんよいのですが、町で生まれている子どもの数が30人ほどという現状では経営的にはなかなか厳しいというのが今の状況です。改築と併せて検討させていただきますが、良いお返事ができるかは分からないところです。

(松村会長)

ありがとうございました。他のみなさんお願いします。

(委員)

ここに掲げられている事業ですが、今まであった事業をより充実させていくというふうに考えてよいでしょうか。新しい事業が加わっていたり、削られた事業があったり、これまでと何か違うところがあるのでしょうか。

(黒田係長)

基本的にはこれまで同じことをやっていきますが、5年前や10年前とは状況が変わっておりますので、変わったところもあります。10年前は信濃小中学校もありませんでしたし、29番にある「学びと育ちプロジェクト」は新しい事業になります。この分野については町としても事業を削るということは難しいので、事業の新設や拡充を行っている状況です。

(委員)

より充実させていくという方向で考えて良いということですね。

(黒田係長)

計画ではそういうふうに謳っています。

(委員)

私も子育て世代で、学校の内外で様々な役をやらせていただいておりますが、やっている中で心配になることがいっぱいあります。行政だけでやってほしいとは思っていませんし、担当の方々が今も頑張ってくださっているのは重々承知の上なんですけど、色々なところと連携しながら充実させていくという方向性で一緒にやっていけると考えていいですか。

(黒田係長)

主な事業の20番にある「子どもの発達段階に応じた保護者の子育て力の向上」は、保護者の方と一緒にしながら子育て力をつけていくという考えです。21番には「個々の事情を持つ家庭への支援」とあります。個々の事情というのは多岐にわたると思いますが、状況を把握しながら一緒にやっていくというかたちですので、出浦委員さんの要望に応えられると思っています。

(委員)

ぜひ一緒にお願いします。

(松村会長)

ありがとうございました。それでは他の皆さんの御意見を頂戴したいと思います。時間の関係もありますので先に進めさせていただきます。

(本藤主任)

以下の資料について説明

・資料 第6次信濃町長期振興計画(案) 基本目標3 について説明

(松村会長)

ありがとうございました。基本目標3をご説明いただきましたが、御質問があればお願いします。

(委員)

主な事業の50番「障がいのある人が働ける環境整備」についてです。長野市のNHK長野放送局のそばにある社会福祉総合センターの一階に、健常者と障がいを持った人が一緒に働く食堂があります。私も何回か利用させていただいておりますが、長時間は働けなくとも、嬉しそうに一生懸命働いています。失礼なことも全くなく、素晴らしいと思っています。役場は色々な人が来るところなので、懇談したり、お茶を飲んで話し合いをするのに良い場所です。そういうところに健常者と障がいを持った人たちが働けるような場所を作ってもらいたいと思っています。私が知っている青年は、非常に頭のよいのですが、人と会うのが辛く、勤めても職場の人間関係がうまくいかないため家で悶々としています。そういう人たちが働けるような、もっと住みやすいまちをつくってもらいたいです。そんなに難しいことだと思わないのですが、意見をお聞きしたいです。

(黒田係長)

役場では、毎週火曜日に、障がい者就労施設のお弁当を注文させていただいております。一度に大量注文したい場合は、一ヶ月以上前からオーダーすれば対応できるということで、議会でお弁当をとっていただいたりしております。そういったところもありますので、今後は福祉係を通じてながら啓発を行い、活躍できる場をつくっていければと思っております。計画の中では環境の整備を謳っておりますが、こういったお弁当の販売があるということをご個別の事業所等の方にも周知できれば、事業としてもっと発展できるのではないかと考えております。

(松村会長)

ありがとうございました。出浦委員さん、お願いします。

(委員)

主な事業58番の「奨学資金貸付基金事業の実施」なんですが、貸付とあるので返すということですか。

(小林総務課長)

無利子で貸付をしておりますが、10年後に信濃町に住んでいただいてもらえる方については、それ以降の償還を免除しています。

(委員)

もう少し分かりやすくお願いできますか。

(小林総務課長)

返済期間は15年くらいになるかと思いますが、10年後に信濃町に戻ってきて住んでもらえる人については、奨学金の10年以降の返済を免除するという事業です。利子は元々無利子でお貸ししています。

(委員)

大学を卒業して、就職してからの10年は支払うということですか。

(小林総務課長)

そうです。10年分は支払っていただいています。

(松村会長)

政府で進めているような、返済不要の奨学金というのはないのですか。

(小林総務課長)

国では給付する事業もありますが、町の事業は貸付なので、返済をしていただく必要があります。ただ、信濃町に帰ってきてもらえる人については、10年以降の分については償還を免除するということです。

(委員)

町から奨学金が出るのはとてもありがたいのですが、若者が働くことが大変な時世のなか、10年間返し続けたり、町に帰ってこられなければそれ以降も返し続けなければいけないということは、若者に借金を背負わせているという感覚があります。もちろん大学で勉強することは大事なことですし、こういう貸付事業があるから大学に行けるという子もたくさんいると思います。しかし、私の知り合いにも奨学金を返していかないといけないという方がいますが、結婚できないとか、子どもを産めないといった問題が出てきてしまう状態で、お金を返し続けなければいけないというのはどうなのだろうといつも疑問に思っています。信濃町に帰ってこられればいいですが、帰ってこられなかったら10年以降も返さなければいけません。無利子というのは確かに素晴らしいですが、その大変さを若者に背負わせていいのかと感じています。そういう意見があったということ、受け止めていただけたらありがたいです。

(小林総務課長)

奨学金のすべてを町が見るといのは財政的な負担が大きいので難しいですが、民間で行っている事業や国で行っている給付型の事業がある中で、選択肢の一つとして町が実施しているということで御理解いただければと思います。

(松村会長)

他の方は何かございますか。

(委員)

主な事業の47番「高齢者世帯の見守り活動の強化」ですが、民生委員の方でもかなりやっております。また、41番「高齢者の健康づくり支援」、42番「高齢者の生きがいづくり」、それから61番からの64番の事業は健康づくりの推進となっています。高齢者を元気づけさせるために健康づくりを進めて、元気のいい高齢者が高齢者の面倒を見るというようなかたちになると、それが高齢者の生きがいづくりにもなってくるような気がします。私もちょうど団塊の世代で、なるべく元気でいようと思っておりますが、その辺について考えをお聞かせ願えますか。

(黒田係長)

長期振興計画(案)でも、「健康づくりや生きがいづくりに取り組むことで地域の担い手として活躍してもらうことが期待されます」と記載させていただいております。また、多くの高齢者がいきいきとした生活を送れる地域づくりは施策としても目指すところであり、地域の担い手として活躍いただけるような環境の整備を含めて進めていくこととしています。

(松村会長)

他のみなさんはいかがですか。それでは、時間の関係もありますので先に進めさせていただきます。

(本藤主任)

以下の資料について説明

- ・資料 第6次信濃町長期振興計画(案) 基本目標4 について説明

(松村会長)

ありがとうございました。基本目標4の説明をいただきましたが、ただ今の説明につきまして御意見・御質問がありましたらお願いします。

(委員)

主な事業の74番になるかと思いますが、有害鳥獣の関係については、町の施策としてどういうふうに考えているのか気になりました。

(黒田係長)

有害鳥獣の関係については、基本目標 5 の主な事業の 110 番に「有害鳥獣による被害の軽減」として挙げております。

(委員)

外来植物についても同じような考えでよろしいですか。

(黒田係長)

外来植物への対応については、基本目標 4 の主な事業の 74 番「外来生物の駆除活動に対する相談対応」として挙げております。「自然環境保全の推進と景観の維持」という施策の中で行っていくこととしております。

(松村会長)

ありがとうございました。つづいて、原山委員。

(委員)

主な事業の 81 番に「町産木材の積極的活用」とありますが、実際にできるでしょうか。

併せて、テレビ等で災害が起きるのを見ていると、杉山がほとんどです。数年ほど前の広島県の災害では、雑木林の山と杉山があつて、その真ん中を川が流れていたんですが、雑木林は全然崩れなかった一方で杉山は全部崩れたという話があります。信濃町は比較的平らで崩れるということは少ないですが、災害対策と併せて杉山を整備し、町の材木として使うような方向にしていければいいと思います。

(黒田係長)

基本目標 5 になりますが、「森林資源の保全と活用」という施策のなかで、主な事業の 109 番の「フォレストスタイルしなのの運営」や 116 番の「町産木材販路拡大事業」といったものを計画に載せております。

(松村会長)

ありがとうございました。飯塚委員。

(委員)

主な事業の 87 番の「雪対策」についてです。これから信濃町は非常に厳しい生活環境になりますが、冬になって一番悩むのは暖房だと思います。皆さん我慢して節約して乗り切っています。信濃町に住む人には、補助金を出すからぜひ住んでくださいといった方向で進めてほしいと思います。良い町なんですけど、雪が嫌なため雪のないところに住んで、こちらへ仕事に来るといった現象もあります。もっと住む人の身になって政策をつくっていただきたい

です。

(松村会長)

要望ということでよろしいですか。他の方はいかがですか。

(委員)

このあいだ家を整理していたら、20年前の計画が出てきました。さっと目を通したところ、信濃町は当時から環境と観光を非常に大事にしていたことが分かりました。他市町村と比べて優位性が高いのは観光ですが、その観光は環境に依存しているということで、今回の計画でも環境をどうするかというところをぜひPRしていただきたいと思います。タイムリーな話題で外向けに発信すべきことといえば、海洋ゴミの問題です。何年後かには、世界中の魚の量とプラスチックの量が一緒になってしまうというデータがあります。信濃町に海はないですが、最上流の町として意識を高く持ってやっているということをPRしていただきたいです。ここには3Rやごみの減量について書かれていますが、もう少し発展的に、例えば何でも量り売りで買える町にするとか、そういったようなことにも取り組んでいただければPRとして非常に効果が高いと思いますのでまた御検討いただければと思います。

(松村会長)

御意見ということでよろしく願いいたします。

(委員)

81番の「町産木材の積極的活用」なんですけど、もう少し事業が大きくなってくるとC材やD材が出てくると思います。そういった廃材の有効活用も一緒にやっていただくと環境に優しくなっていくかと思しますので、検討してもらえればありがたいです。

(黒田係長)

検討させていただければと思います。

(松村会長)

それでは時間の関係もございますので、次の説明をお願いします。

(本藤主任)

以下の資料について説明

- ・資料 第6次信濃町長期振興計画(案) 基本目標5 について説明

(松村会長)

ありがとうございました。基本目標5について御説明いただきましたが、御意見・御質問をお願いしたいと思います。

(委員)

2点ありますが、まず一つ目は施策の「信濃町固有の魅力をいかした観光の実現」の記載のなかで、「観光協会・振興局・NPO等との連携により、裾野の広い観光産業を目指します」と書いてありますが、商工会にも観光部会があり、陳情も採択されるなど観光について一生懸命やっている団体です。5年後10年後どうなっていくか分からないので、個別に名前を並べるよりは「観光関係団体」として一括りにしてもらえればありがたいと思います。それから、観光審議会の中ではイベント等の見直し・検討ということも含まれていましたが、新たに出てきた主な事業の103番の「自然環境を活用したイベントの開催」は、どういうものを想定しているのか説明をお願いします。

(黒田係長)

御指摘のあった書き方については、観光関係団体というかたちで修正していきたいと思っています。

「自然環境を活用したイベントの開催」の「自然環境」については、主に雪を想定しております。今も盛んですがウィンタースポーツを今後振興していきたいと思っています。また、それ以外にも、野尻湖を使ったトライアスロン等もありますのでそういったものも想定しております。

事業の見直しにつきましては、行政経営方針の方で書かせていただいております。

(松村会長)

ありがとうございました。それでは他の皆さん、お願いしたいと思います。それでは先に進めさせていただきます。

(本藤主任)

以下の資料について説明

- ・資料 第6次信濃町長期振興計画(案) 行政経営方針 について説明

(松村会長)

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御意見・御質問をお願いします。

(委員)

第7次行政改革大綱の中では「職員数の減少」が出ていますが、私の記憶では服部町長の時に具体化され、25年先までシミュレーションしたような記憶があります。それが松木町長になって一回中断したと思いますが、当時は一般事務職を90人くらいまでに減らす計画であったと記憶しています。今もし実施するとなると、当時の目標人数とは少し違ってくると思いますが、町としてどのようにお考えですか。

(小林総務課長)

職員の定員管理につきましては、第7次行政改革大綱の中では一年間に一人ずつ減少させるという目標でやってきました。来年度からは働き方改革によりまして、臨時職員についても手当や賞与を出すということになっております。職員と同様にフルタイムで働く臨時職員を採用できるようになっており、職員に変わるかたちでやっていくか等、新しい制度について検討している段階です。こちらに書き入れるところまで行き着いていませんが、人件費の削減を念頭におきながら職員の減少や人員の見直し、職務にあった適正な配置を検討していきたいと考えています。

(松村会長)

ありがとうございます。他の皆さんはいかがですか。

(委員)

主な事業の146番の「病院事業の経営改善」についてです。信越病院にも運営委員会というものがあり、そこへも出席させていただいておりますが、両方に関連することなので発言させていただきます。ご存じのとおり、駐車場が非常に狭いです。具合が悪くて来た人が、駐車場を探すために右往左往していて非常に危ないです。この前意見を出した際には、財政の問題があるとおっしゃっていました。空き地を借りて駐車場を増やし、今よりもっと信越病院がよくなってほしいと思っています。基本的な問題だと思いますが、駐車場については考えているのでしょうか。

(小林総務課長)

病院を建て替えるかどうかを含め、どういうかたちになるかがまだ分からないのですが、財政的な面で新しく建て替えるのが厳しいという状況のなかで、どのようなかたちでやればいいのかと併せて駐車場の確保についても検討していきたいと思っております。

5 その他

(松村会長)

それでは他の御意見はありますか。活発な御意見ありがとうございました。話は尽きないと思いますが、時間の都合もありますので一旦ここで議論を閉じたいと思っております。

また、本日御発言できなかった御意見・御質問につきましては、後日で結構ですので事務局の方まで御提出をお願いします。

それでは、その他ということで、事務局から何かございますか。

(黒田係長)

来週からパブリックコメントとして、ホームページを通じて一般町民の方から意見を募集いたします。期間は約2週間を想定していますが、もし御意見等があるようでしたら今週金曜日の午前中までにいただければ、パブリックコメント載せる計画に反映できますのでよろしくをお願いします。

また、パブリックコメント終了後、庁内策定委員会で検討し、再度皆様に御審議いただきまして最終的な長期振興計画とすることとしております。資料については、これまでと同様に事前に配布させていただきます。審議会は11月下旬頃になりますので、ご予定いただけると幸いです。事務局からは以上です。

(松村会長)

ありがとうございました。皆様方からその他ということで何かありますか。

それでは長時間の御審議ありがとうございました。これで本日予定しておりました議事はすべて終了となります。これをもって議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。進行を事務局へお返しします。

(小林総務課長)

松村会長、ありがとうございました。

また、本日は活発な御意見をいただきましてありがとうございました。まだ十分見ることができていない部分があると思いますので、金曜日の午前中までに御意見をお寄せください。その後、パブリックコメント、再度の庁内策定委員会及び審議会を経まして、答申をまとめ、12月議会へ報告するというかたちで進めさせていただきます。

以上をもちまして、第6回信濃町長期振興計画審議会を閉会いたします。

(16:45 終了)